

《活動テーマ》

極寒天国（しばれすとパラダイス）・藪川地域をもっと稼げる地域に！

2023年4月26日

盛岡市地域おこし協力隊 産業振興課所属
藪川地区担当 佐々木 亨

着任に際して

藪川地域を俯瞰で見たい欲しい。

藪川地域の特色・魅力



薮川地域の特色・魅力

全国区で知れ渡る寒冷地「極寒天国（しばれすとパラダイス）」

毎年冬になると気象庁から発表される「本州一寒い朝を迎えた“盛岡市薮川”では氷点下〇〇.〇℃を観測した」のニュースが全国区。

唯一無二の自然環境

国内でも有数の美しい人造湖として名高い岩洞湖を中心に、春から夏にかけての新緑、秋の紅葉、冬のダイヤモンドダストなど、1年を通じて大自然のコントラストがとても綺麗な地域。

豊富な自然の恵み

昼夜の寒暖差が育む香り豊かな蕎麦や、特産の行者にんにく、山菜、きのこなどの自然の恵みが豊富。

四季折々に楽しめるアクティビティ

大自然の中でのキャンプや自然散策、山菜採り、体験農園、ツーリング、サイクリング、氷上わかさぎ釣り、星空観察など、四季折々の魅力的なアクティビティが楽しめる。

外山節の発祥の地

外山牧場が宮内省御料牧場となった頃に発祥した、作業員が共同作業をしながら唄った労作唄、岩手を代表する民謡として全国に知れ渡る。

等々
：

その一方で地元の声は？

超高齢化集落

令和4年9月末時点の盛岡市人口統計によると、104世帯、人口178人（男性92人、女性89人）、**高齢化率**(注)は、盛岡市全体の28.7%を大きく上回る**64.0%**。20歳未満の人口は4人、小・中学校も廃校。住民の高齢化で催し物も出来なくなった。

(注) 世界保健機構（WHO）の定義では、65歳以上の高齢者が占める割合（高齢化率）が21%を超えた社会が「超高齢化社会」

地域を代表する大きな産業がない

第一次産業が主だが、大規模農家や大規模牧場はない。作る人も少なくなっている。農産物の生産量も加工品も大々的に他に出荷するほどではない。職業としての農業は難しい。一つくらい特産が残ってくれば。。。 (葛巻町は高原牧場やワインをうまく産地化している)

新しいことに投資するのが困難

投資回収のことを考えると、これから農機具の購入や新しい事業、拡充などに手を出せる人は居ない。

買い物がとにかく不便

地域内にスーパーはもとよりコンビニもなく、約30km離れた上米内にある「ローソン盛岡桜台店」が最も近いコンビニ。買い物がとにかく不便。

日常生活で移動手段がなくなるのが心配

高齢者講習を受けないと運転免許証の更新ができなくなる70歳以上の人口は87人で全住人の約半数（48.9%）。免許返納した後の日常の移動手段をどうするかが今から心配。。。

等々

：

改めて活動テーマを考える

藪川地域をもっと稼げる地域に！



藪川地域を次の世代に繋いでいくために！

- 住民の皆さんは -

毎日複数の仕事を抱えて長年一所懸命に働いてきている
これまで様々な取り組みにトライし、できることはすでにやってきている



住民の皆さんの努力を支える、
“稼げる地域=次の世代に繋いでいく”ための地域の基盤を整える必要があるのではないか？

まず地域を知る

歴史・現在・将来の3つの視点

- 自治会長さんや地元をよく知る方々、岩手県立大学の教授などに、平成27年～28年に行われた「玉山藪川地区地域づくり計画」の推進のことや地元の課題、想いなどお話を伺いました。
- 他の自治体の取り組みや好事例を参考にするために、担当者へのヒアリングや、様々なセミナー、シンポジウムに出席しました。

歴史

- 縄文時代・文化
- 塩の道
- 外山御料牧場
- 遷都計画
- ：

現在

- 岩洞湖家族旅行村
- 特産品・農産品
- 体験イベント
- 漁協
- ：

将来

- ITインフラ
- 移住促進
- 企業誘致
- 活性化事例研究
- ：

歴史を知る - 外山御料牧場 -

外山御料牧場

- 宮内省直轄の牧場として、千葉県成田市の「下総御料牧場」（明治18年）、北海道静内町の「新冠御料牧場」（明治21年）に次ぎ、3番目に開設されたのが「外山御料牧場」（明治24年）。



- 前身の「県営外山牧場」（明治9年開設）は、**西洋の畜産技術と獣医学の先進地**
- 明治12年獣医学舎（現岩手県立農業高等学校）設立
- 明治24年から32年にわたり**日本の牧畜と農耕に多大な貢献**
- 御料牧場と小岩井農場の深いつながり（3カ所の御料牧場の場長が小岩井農場長を兼任）
- 平成28年3月、玉山薮川地区福祉推進会により、後世に残すため**外山御料牧場跡地の立て看板設置**

歴史を知る - 外山御料牧場 -

下総御料牧場では（参考）

- 三里塚記念公園とその園内に三里塚御料牧場記念館、貴賓館などが大切に残されている。
- 同公園は平成 19 年に「日本の歴史公園 100選」に選ばれ、市民の憩いの場や桜の名所としても親しまれている。
- 三里塚御料牧場記念館の運営は成田市教育委員会（教育部生涯学習課）、記念館のある三里塚記念公園と貴賓館の運営は成田市役所都市部公園緑地課が担当。



三里塚記念公園



三里塚御料牧場記念館

歴史を知る - 外山御料牧場 -

新冠御料牧場では（参考）

- 新ひだか町側にある静内本場と新冠町側にある新冠分場で構成される。新冠町が発祥であることから「新冠御料牧場」となる。
- 新冠町では「新冠町郷土資料館」で御料牧場の歴史を展示。**歴史を巡りながら町を知ってもらう「新冠町エコミュージアム」も実施。**
- 「宮内省の牧場であったということを文化財にしてしまうのはいつでもできる。そうではなく、**地元がどうやってこの歴史や資産を産業や観光などに活かしていけるか、それを考えるのが我々の役割として大事**」（新ひだか町教育委員会 新ひだか町博物館 館長談）。



現存する「宮内省新冠御料牧場事務所」



静内本場（現・家畜改良センター新冠牧場）に入る、直線にして約7kmにも及ぶ二十間道路、道路脇に2,200本の桜が並ぶ桜の名所でもある

新冠町郷土資料館



新冠分場側にある新冠御料牧場発祥の跡地（現在も牧場として運営）

現在を知る - 岩洞湖家族旅行村

利用者の声を知るためWEBアンケートを実施

- 藪川地域を代表するコンテンツ。湖畔を中心に大自然を満喫できる希少なロケーションとして人気が高く、リピーターが多いのが特徴。
- **より魅力的な旅行村にするため**、利用者目線でのご意見やご要望などを把握する目的でアンケートを実施。

《調査方法》



受付時にQRコード付カード（名刺サイズ）を配布し、アンケートの協力を依頼
キャンプ滞在時や帰宅後など都合の良い時にスマホで回答できるため、オープン
アンサー（OA）が回収しやすいメリットがある

《調査対象》 オートキャンプ場、キャンプ場、ピクニック広場利用者（複数利用者の場合、2回目以降も対象）

《調査期間》 令和4年5月14日（土）～10月30日（日）

《調査項目》 利用者1組の人数、利用回数、居住地、利用施設、選んだ理由、情報の入手先、設備や管理面の満足度、総合満足度+OA、再利用希望、意見・要望（OA）

《回収数》 合計91件（OA：総合満足度65件、意見・要望51件）

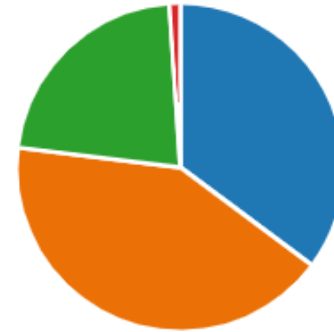
現在を知る - 岩洞湖家族旅行村

WEBアンケートにより得られた情報（一部抜粋）

《利用者1組の人数》

● 2～3人、4～6人のファミリー含むグループ利用者が64%、ソロキャンプが35%

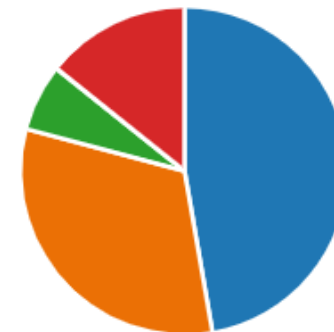
● 1人	32
● 2～3人	38
● 4～6人	20
● 7～9人	1
● 10人以上	0



《利用回数》

● 初めての利用者と2回以上のリピーターがそれぞれ約半数、10回以上の利用者が全体の14%

● 今回が初めて	43
● 2～5回程度	29
● 5～10回程度	6
● 10回以上	13



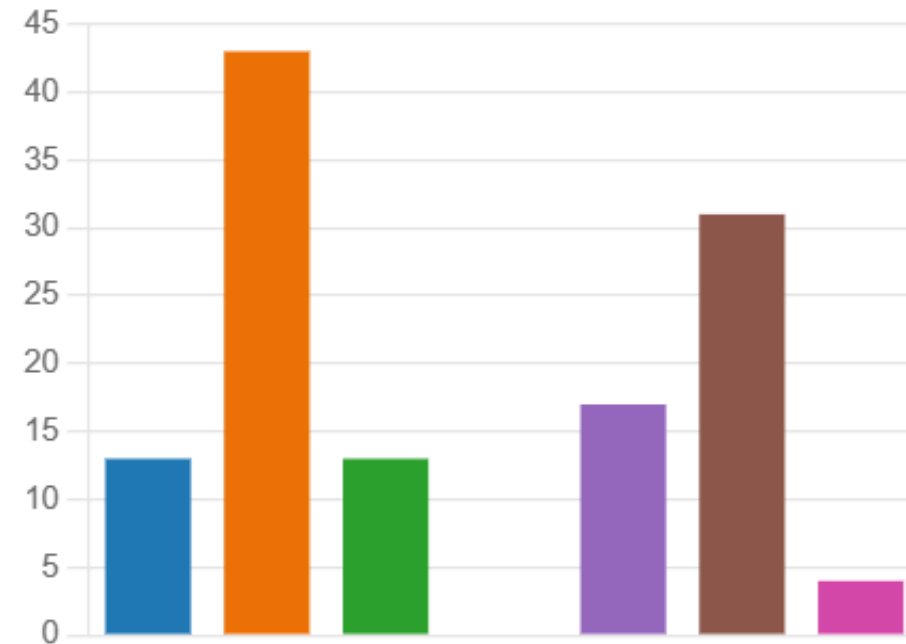
現在を知る - 岩洞湖家族旅行村

WEBアンケートにより得られた情報（一部抜粋）

《情報の入手先》

- 「インターネット検索」「SNSやブログを見て」が全体の46%を占め、一般のネット系が重要な情報収集源
- 次いで「以前から知っていた」「知人からの紹介、口コミ」が40%で、リピーターの評価・影響大
- 「盛岡市公式ホームページ」からの情報入手は13票で10% → **情報源として掲載内容の見直しを検討**
- その他は「YouTube」「キャンプガイドブック」「Google Map」2票

● 盛岡市公式ホームページ	13
● インターネット検索	43
● SNSやブログを見て	13
● 新聞やテレビなどのメディアを通じて	0
● 知人からの紹介、口コミ	17
● 以前から知っていた	31
● その他	4



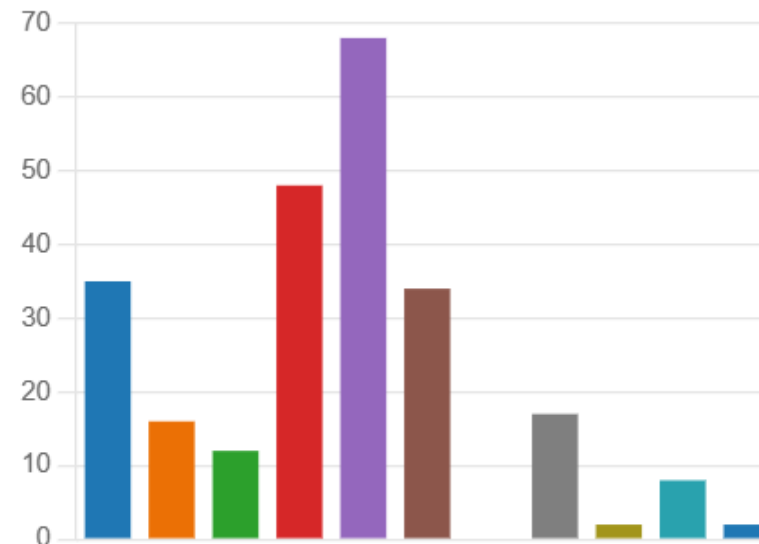
現在を知る - 岩洞湖家族旅行村

WEBアンケートにより得られた情報（一部抜粋）

《岩洞湖家族旅行村を選んだ理由》

- 「岩洞湖畔のロケーション・風景」「自然を満喫できる」「自然散策ができる」など、**ロケーションへの魅力で選定している層が多数**
- 「**以前に利用して良かった**」「ネットやSNSの**評判**」「友人・知人からの**勧め・口コミ**」「**キャンプ場が魅力的**」など総じて**好感度が高い**

● 以前に利用して良かった	35
● ネットやSNSの評判	16
● 友人・知人からの勧め・口コミ	12
● 自然を満喫できる	48
● 岩洞湖畔のロケーション・風景	68
● キャンプ場が魅力的	34
● ピクニックが楽しめる	0
● 自然散策ができる	17
● 自然の中でテニスを楽しめる	2
● アクセスが良い	8
● その他	2



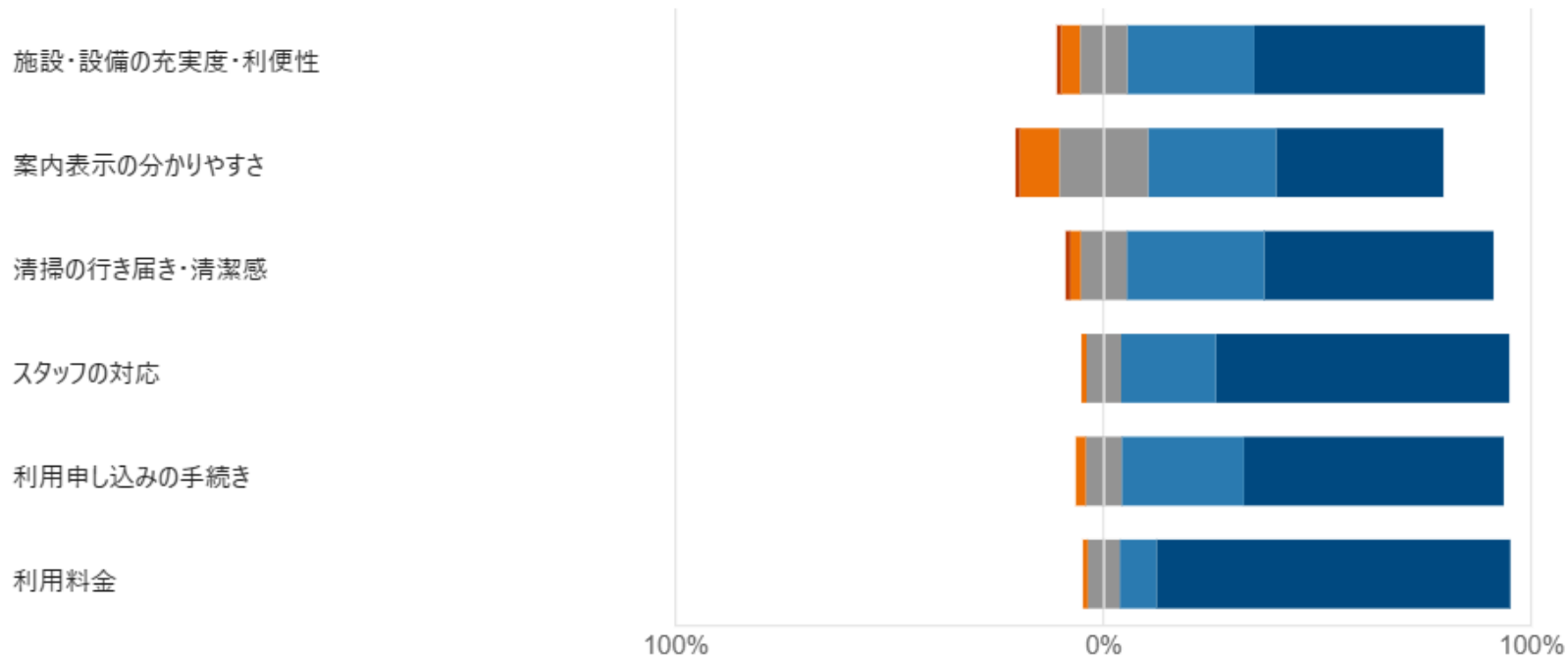
現在を知る - 岩洞湖家族旅行村

WEBアンケートにより得られた情報（一部抜粋）

《設備や管理面の満足度》

- 不満寄りに触れているのは「案内表示の分かりやすさ」、次いで「施設・設備の充実度・利便性」
- 満足度が高いのは「利用料金」、次いで「スタッフの対応」 → 管理人さんにフィードバック

■ 不満 ■ やや不満 ■ どちらとも言えない ■ やや満足 ■ 満足



現在を知る - 岩洞湖家族旅行村

利用者の声（一部抜粋）

《満足のポイント》

- 湖畔からの風景がとにかく美しかった。それだけで満足。
- このキャンプ場のような自然な環境は何処にも無い。
- ピクニック広場の白樺林の落ち着いた雰囲気は最高です。
- スタッフさんの対応、エリアの清潔感本当に素晴らしかった。
- きちんと手入れされているのに、自然も残されていて良いキャンプ場だと思います。
- 手入れが行き届いており、アスレチックもあり、景色に感動できる場所です。親子共に大好きなキャンプ場です。
- 初めての利用でしたが設備や料金無料等、最高でした。また利用します。

《ご意見・ご要望》

- 子供たちが大好きなアスレチックを整備して欲しい。
- 木の遊歩道の破損箇所を修繕していただきたいです。
- アクセス途中の未舗装路を舗装して欲しい。
- 駐車場の案内看板の字が薄く見えづらかったので、改善していただけると嬉しい。
- 売店が欲しい（飲み物、お菓子など）

現在を知る - 岩洞湖家族旅行村

キャンプ場視察 - 岩洞湖家族旅行村がベンチマークすべき点や優位点等の確認 -

- 田沢湖オートキャンプ場「縄文の森たざわこ」(写真上)
- 八幡平ストーンヴィレッジ
- 岩手山焼走り国際交流村
- ルーデンス農場「ASOBITO CAMP FIELD」
- にいさと「閉伊川オートキャンプ場」(写真下)
- 網張温泉キャンプ場
- 相の沢キャンプ場
- 都南つどいの森キャンプ場
- まほら岩手
- 外山森林公園



現在を知る - 特産品・農産品 -

「AZLM CONNECTED CAFÉ manordaいわて店」視察

- 2022年10月26日に中央通りにオープン。事業機会やマーケティング機会創出の場として、商品の認知や販売につなげる「リアル×デジタル」を融合させた**“モノを売らない店舗”**。渋谷地下街店、仙台空港店に次ぐ3号店。
- 月々の出展料で、AZLMのECサイトに無料掲載ができるため、自前のWEBサイトを持たない団体でも、**サイト構築の初期投資を**かけずにECサイトに出品できる。



現在を知る - 体験イベント -

「行者にんにく収穫体験」「菽川体験農園&蕎麦打ち体験」イベント（有料）を視察

- 5月3日、「行者にんにく収穫体験」。地元の方の引率で数班に分かれ、それぞれの場所で各自収穫。
- 7月17日に開園式・そば播種、9月中旬～下旬の刈り取り・脱穀を経て、10月30日に収穫祭として蕎麦打ち体験と試食会を実施。
- 参加者が増えれば地元で対応する人数も必要となり、イベントとして広げていくのは難しい。リピーターが多く告知人数も限定的、とのこと。



将来を見る - ITインフラ -

光回線未整備地域“藪川”

- 現在藪川は盛岡市内の光回線未整備地域。総務省資料では令和3年3月末時点の岩手県の光ファイバ整備率は97.6%で東北6県で最も低い。



出典：岩泉町公式サイトより

《岩泉町のITインフラ整備》

- 藪川地域の隣町にあって**8年前にITインフラ（光回線）を整備**した岩泉町役場を訪問しヒアリング。
- 震災復興計画の一環として、平成24年に協議をスタートし、同 25、26 年で整備、完成と、**わずか 3 年間で町内全域の伝送路整備（光ケーブルの敷設）を完遂**。
- 情報化の遅れによる都市部との情報格差の広がり深刻で、復興発展のため、**産業の空洞化を防ぐため、町に元気と活気を取り戻すため**には、超高速通信網の基盤整備は必要不可欠、との判断で、当時実施したとのこと。

将来を見る - ITインフラ -

全国の光ファイバ整備率

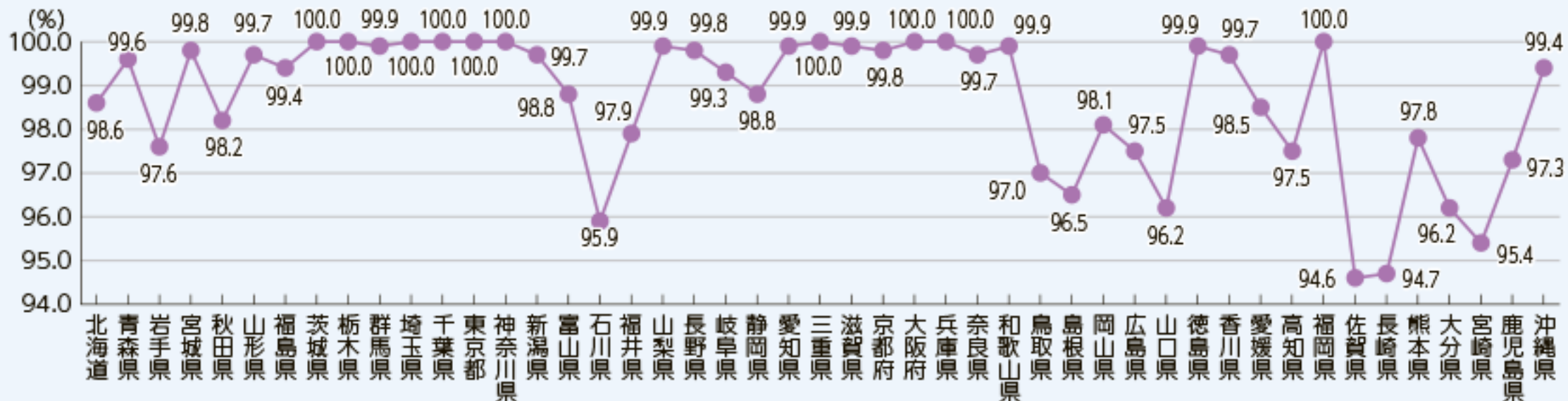
令和3年3月末

99.3%

(未整備39万世帯)

※住民基本台帳等に基づき、事業者情報等から一定の仮定の下に推計したエリア内の利用可能世帯数を総世帯数で除したものの(小数点第二位以下を四捨五入)。

都道府県別の光ファイバ整備率



将来を見る - 移住促進 -

空き家の実態調査

- リモートワークやテレワークが推奨され、地方の空き家を活用した在宅ワークが注目されるなか、藪川には発信できる空き家の情報がないため、現地調査を実施。
- 市や自治会長さん等に確認をしながらマップで空き家位置を特定し、空き家扱いとなっている外山42カ所、藪川16カ所をすべて目視確認。
- すでに廃墟と化している物件が多数見られたが、居住可能な**魅力的な空き家も散見される**（所有者の売却要望・条件などは未確認）。
- 何件か地元にお問い合わせがあったことから、**この地域への移住に関心を持つ層も存在**。



将来を見る - 企業誘致 -

日立造船へのアプローチ

- 岩洞湖周辺に土地を所有する企業の中で、日立造船に、データセンター省電力プロジェクトを積極的に推進する日立グループで、**藪川の冷涼な気候や地理的条件を活かしたデータセンター誘致**の可能性がないかをアプローチ。
- 同社内で検討いただいたが、最終的には難しいとの結論。日立造船には日立本体の資本が入っていないため、グループ連合として組めないことも一因。
- 日立造船としては、現在藪川で風力発電事業の検討を進めているため、何らかのカタチで地域に貢献したいとは考えている、とのこと。



出典：日立造船株式会社公式サイトより
(写真は秋田県の雄物川風力発電所)

将来を見る - 活性化事例研究 -

他自治体・企業の取り組みをヒアリング

- **山梨県小菅村**：関係人口を増やしていくための施策として「**こすげ村人カード**」を5年前に導入。ボランティアや地域住民との交流、地元施設の利用など小菅村への関わり方で1/1村民（住人）、1/2村民（頻繁に来村する人）、1/3村民（観光目的）と分数住民の考え方を取り入れ、1/1村民（住人）にステップアップしていく取り組み。ポイントカードとして使用でき、村内加盟店、施設などで利用金額に応じてポイントが付与される。**地域消費の見える化、消費行動のデータ化、会員化した方とのつながり**が目的。



出典：小菅村公式サイトより

- **福島県飯舘村**：村に住民票が無い方を対象に、村に興味・関心がある方は「**ふるさと住民**」として登録できる制度。登録した方には「ふるさと住民票」（カード）が発行される。村内でのイベントの案内、メルマガが送られてくるほか、生活体験、村を元気にするために一緒にやることを考えるなど、地域に関わりを持つ人たちとのつながりを強くし、アイデアや気持ちを地域づくりにいかすための仕組み。2022年5月時点の飯舘村の**ふるさと住民登録者数は934人（村内人口比約18.9%）**。



出典：飯舘村公式サイト、
「ふるさと住民票®」公式サイトより

将来を見る - 活性化事例研究 -

他自治体・企業の取り組みをヒアリング

- **JR東日本スタートアップ(株) / (株)ARK / 東日本旅客鉄道(株)水戸支社**：2022年2月22日より「JR常磐線浪江駅」で開始した、小型閉鎖循環式陸上養殖システム「ARK」を用いた再生可能エネルギー使用による「**陸上養殖の実証実験**」の説明会に参加。現在浪江駅では、ARKプロトタイプ1基を導入し、バナメイエビを試験養殖中。5月以降に視察を予定。

ARK Prototype 3
閉鎖循環式陸上養殖システム

どこでも→**小型化**
駐車場1台分のスペースで、水道、電気の引き込み不要 **9.99m²**

だれでも→**自動化**
IoT化・自動化を実装し、餌や種苗など必要資材と共にリモート管理アプリを提供 **IoT**

ゼロエミッション→**省エネ**
独自の省エネ技術でオフグリッドを実現 **0.3kW**

ARK

Copyright 2021 ARK Inc.

出典：株式会社ARK公式サイトより

令和5年度 主な活動予定

1) 薮川に“光”回線（ITインフラ）を！

- リモートワークやテレワークで薮川への移住推進など**関係人口を増やしてしていくためには、光回線の整備は必要不可欠。**
- 情報格差を広げない、企業参入の障害を取り除く、町に元気と活気を取り戻すなど、取り残してはならないインフラ整備の一つ。
（地元はもとより、薮川地区で風力発電事業を推進している**グリーンパワーインベストメントも光回線を熱望**）
- 薮川地域だけでは世帯数が少ないことから、盛岡市の他の未整備地域との連携など、市やNTT東日本とも相談のうえ、**「盛岡市デジタル化によるまちづくり推進戦略」推進の一環として、どのように進めていけば光回線の整備に繋がられるかを検討したい。**

2) 市街化区域外でも空き家バンク登録を可能に！

- 不動産物件の乏しい地域では、**空き家・土地情報の発信は、移住を促進するためには最低限必要な情報。**
- 現在（4/14時点で）盛岡市の空き家バンク登録物件は1件。東北6件の県庁所在地（仙台市を除く）で比較すると、青森市9件、秋田市21件、山形市52件、福島市52件と、盛岡市が圧倒的に少ない。県内13市との比較でも最小件数（独自取材に基づく）。
- 市の空き家バンク制度実施要綱では、空き家バンクの登録対象が市街化区域内に限定されていることも要因と思われる。
- 市街化区域外、都市計画区域外に多い空き家を、**空き家バンクに登録できるように改定できないか？**

令和5年度 主な活動予定

「現在」

1) 岩洞湖家族旅行村をより魅力的な施設に

- 昨年度のWEBアンケートなどを元に、岩手県ご担当者を交え、岩洞湖家族旅行村をより魅力的な施設にしていくための意見交換、改善点の対応について検討を行う予定（案内看板、遊歩道・アスレチック施設の改善、湖面利用の運用方法、等）。
- 盛岡市公式ホームページの掲載内容の見直し（新撮のためJUIDA認定無人航空機操縦技能 & 安全運転管理者資格修了済）

2) 「AZLM CONNECTED CAFÉ」への試験出展検討

- 地元特産品や加工品を、日々の業務の延長線上で新たな労力を極力かけずに地元以外でPRでき、販路に繋がる可能性があるため、加工品開発を行うばっちゃん亭等と相談のうえ、試験的取り組みとして検討してみたい。



「歴史」

- 馬事文化としての外山御料牧場、縄文時代・文化や塩の道などを含め、**地域の今後の付加価値に繋がるコンテンツについて、地元や教育委員会などとも引き続き意見交換を行っていきたい。**

おわりに

菟川地域を次の世代に繋いでいくために！

縄文から今に続いている菟川地域は、その歴史、人々の営みがすでに素晴らしい

- しかし -

菟川地域を次の世代に繋いでいくためには

今こそ地域、行政、民間、プレイヤーが一致団結して、菟川の課題解決を！